

似合う洋服を提案するファッションAI

応用情報工学科 松野

研究室

背景

ファッション診断では、顔立ちや骨格、雰囲気などから「似合うスタイル」を判断する[1,2].しかし、全身診断ではアナリスト間の診断結果の約6割が一致せず、客観的な分類が難しいという課題がある[3].



図1 拡張YIN/YANG理論から生成された8種類の女性像

研究内容

YIN/YANG理論を、「直線/曲線」と「成熟/若年」の2次元に拡張し、人物の外見印象を8タイプに分類する[3].

提案手法

人物画像をLLMに入力し、顔の形や骨格、体のラインなどを文章で記述. その記述を数値特徴に変換し,kNNを用いてタイプ分類を行う.

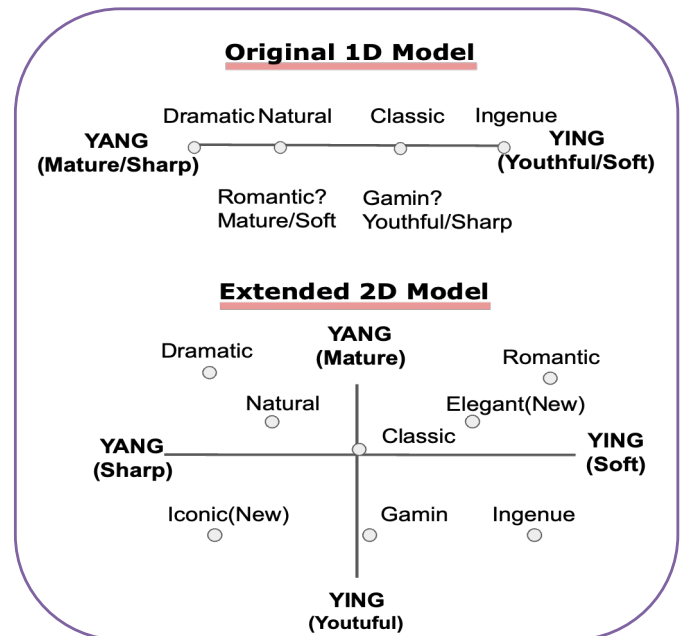


図2 オリジナルモデルと拡張モデルの分類マップ



図3 手法の流れ

実験結果

有名人100人のデータで評価した結果,Top-1精度55.00%, Weighted F1スコア 56.44 を達成.AIがファッション診断を支援する可能性が示された.

参考文献

- [1] B. Northrup; "An Approach to the Problem of Costume and Personality," Art Education Today, vol. vol.2, pp. 94–104, 1936.
- [2] H. McJmsey; "Art and Fashion in Clothing Selection". Iowa State University Press, 1973.
- [3] Minami Yoda, Jialong Li, Yasuyuki Tahara, Yuichi Sei, Yutaka Matsuno; "Holistic Fashion Classification via Structured LLM Semantics and 2D YIN/YANG Theory", AIESE in IISA, 2026.